

神田の下水道

日本の下水道の始まりは明治時代になつてからです。人々が東京や大阪などの都市で生活するようになると、大雨になると家が水につかたりたまたままのよごれた水が原いんで伝せん病が流行するようになりました。そこで、まをきれいにするたに、1883年(明治16年)に東京の神田に、日本ではじめての下水道がつけられました。か、王国にふきやうするまにはなりませんでした。

日本の下水道の始まり

教えて!!

下水道のこと

新聞

発行者 清水 佑香



モヘンジョダロの下水道

世界で一番古い下水道は、4000年も前の昔、インドのモヘンジョダロという都市でつくられたといわれています。その後、19世紀に入り、ヨーロッパやアメリカで近代的な下水道の建設がはじまりました。

世界で一番古い下水道



お父さんは前、下水道工事のかんとく冒険だったのでインタビューしました。

Q.お父さん、A.お水は「自然บำบัด」という方法で、理場まで流されていくんだ。自然บำบัดはたんたんマンホールとマンホールの間のパイプをひくくしていく方法なんだ。



日本の下水道は、ヨーロッパやアメリカにくらべておくれいているといわれ、下水道のふきやうは49%(平成5年度末)とひくいのです。川の水のをふせぐためにも、トイレの水せん化や計画的な下水道敷設をしていかなければなりません。

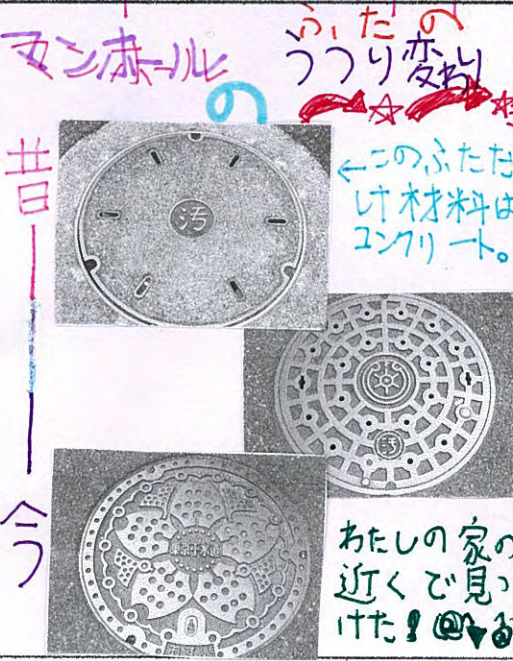
日本の下水道

また、ふきやうが

まてー入=33

感想

下水道のことを調べるのはとても楽しかったです。とくにきょうみがあつたのは、時代が変るにつれて、マンホールのデザインが変わったのなせ?ということですね。新聞には書かなくなりましたが、たいていみたいです。



Q. 開き工事とは、さかかんたんの! A. 開き工事だよ。上流は開き工事だよ。下流はすい進工事なんだよ。

